

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスキー別待クラス				公表日	2026年2月20日
職場・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1 利用定員が施設や施設等のスペースとの関係で適切であるか。	4		十分なスペースを確保している。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対しても、職員の配置数は適切であるか。	4		負担や突然の休み等に備え、後一人職員の配置を希望する。	リクルート活動を続け、職員が増え十分な配置数になったと思う。サービス提供時間にもう一人入れば良いと思う。		
	3 生活空間は、どこにわざわざなく構成された環境になっているか。また、季節別の設備等は、季節の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		季節の変化に合わせて、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	季節があるのにフラットにならないか会社に伝えたい。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	4		広さが十分にないので、こどもたちの活動に合わせた空間になっていると思う。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		専用所があり、児童に会わせた配慮が出来ていると思う。			
業務改善	6 業務改善を進めたためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		全員で話し合いをし、全員の意見を取り入れて進めている。	今後も職員全員の意見を反映しながら進めていきたい。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員全員に周知し、自分たちの支援を振り返っている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝会や話し合いの機会を設け意見を反映しようと努めている。	今後も職員全員の意見を反映しながら進めていきたい。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		評価結果を共有し、業務改善に努めている。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		内部研修、外部研修ともに積極的に参加している。	今後も研修等に積極的に参加していきたいと思う。		
適切な支援の提供	11 調査に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎年、ホームページで公表している。	保護者様の意見や要望を聞き出せるようにしていきたい。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを調査に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者様や児童のニーズを聞き、支援計画に反映している。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通理解の下で、こどもの利益を考慮した検討が行われているか。	4		知り得た情報は全員で共有し、支援を統一し支援をしている。最善の利益を考慮している。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に対する計画を共有し、計画に沿った支援を行っている。計画から離れそうになると、声掛けしながら支援を行っている。			
	15 こどもの適切行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により確認しているか。	4	1	事前の情報を見込み検査を基に、日々の様子から行動の状況を話し合い確認している。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		移行支援等を念頭に入れ、支援を行っている。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		朝会で全員で立案している。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		カレンダー等を活用し固定化しないように工夫をしている。			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適度に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	1	3	個別と集団活動を両方の組み合わせを行っている。			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		役割分担し、役割も固定化しないようにしている。			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日振り返りを行い、その後の支援に反映している。			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		保護者様向けのアドバイスで記録や個人個人で記録を残している。			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	3	定期的にモニタリングを行い見直しを行っている。また、必要な際には定期を経ず担当者会議を開催している。			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		出来る限り複数組み合わせて支援を行っている。			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		物事を決める時は、いくつかの選択肢を提示し自己決定をする力を育んでいる。			
関係機関や保護者との連携	26 備書況相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3	児童発達支援管理責任者が、他の職員の意見も聞き会議に参加している。	今後も職員の意見も聞いた上で会議に参加したいと思う。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	そのような体制を整えている。			
	28 学校との情報共有（午睡計画・行事予定等の交換、子どもの下校時の確認事項）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に実行しているか。	4		下校時間がかぶり悪くなってしまう時には早めに学校へ連絡を入れトラブル回避をしていている。	施設お世話えたので下校時間に間に合うように行ける予定となっている。		
	29 研修前に利用していた保健所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所などの窓口情報を共有し相談に応じているか。	1	3	相談支援専門員さんを通して連絡を取り、情報共有を図っている。			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	廻所後1年の塾、まだ卒業生がいるが、今後どのような機会がある際には情報を提供していく。			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスムーズに連絡や面談や研修を行っているか。	1	3	研修等は積極的に参加し、参加した者が他の職員に研修報告をしている。			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		地域の時には地域のこどもたちとの交流がある。	今のところは、地域のみなので今後は少し増やすことを思っている。		
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	基本的に管理者が参加している。			
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や問題について共通理解を持てているか。	4		夫婦連絡時に保護者側と会話をし、事業所に来り他の職員とも情報共有をしている。			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンティング等）や家族等の参加できる研修の開催や情報提供等を行っているか。	1	3	現在は行っていないが、今後は前向きに検討していきたい。			
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	3	規約時には時間を取り、丁寧な説明を心がけている。	保護者様が理解しやすいような言葉を使用し、丁寧に説明を行っていきたい。		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の感想の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を尊重する機会を設けているか。	1	3	モニタリングだけではなく、日頃より保護者の感想やこどもの最高の利益を考えながら支援に当たっている。			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行ない、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	1	3	そのようにしている。			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言を支援を行っているか。	4		保護者様の気持ちを受容し相談に応じるように心がけている。			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		現在、父母の会等はないが、1年1回程度での親子で活動に参加する機会を考えている。そのため、保護者同士の交流がしやすいよう配慮をしていきたい。			
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか。	4		上司に届け出し迅速に対応している。			
	42 定期的に保護者等を行方確認のことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して周知しているか。	4		インスタやSNSを通じ、日頃の活動の様子等を発信している。	今後は他の媒体も考えながら発信していきたい。		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報は漏洩付きの保管庫にて保管し、携帯にはロックをかけている。			
	44 保護のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		裏書きに気を付け記憶しながら行っている。			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4		今まで地域住民を招待する事はなかったが、今後、そのような機会がある際には事業運営を図りたい。			
非常時等の対応	46 事務的止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生時対応の訓練を行っているか。	4		それぞれマニュアルを第1回し、年に新規訓練も実施している。			
	47 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難・説教その他の必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し年に新規訓練を実施している。			
	48 事前に、履歴や予防接種、でんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	4		確認がある場合には保護者様から（度見えない場合）薬剤をコピーし保管している。			
	49 食物アレルギーのあるこどものために、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		対応を行っている。			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な準備を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し研修や訓練をかなめ行っている。			
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組みについて、家族等へ周知しているか。	4		年に一度文書で周知している。			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	4		ヒヤリハットを1週間に一度必ず提出し、職員間で共有し、再発防止に努めている。			
	53 痘瘍を防ぐため、職員の研修会議を確保する等、適切な対応をしているか。	4		会社で委員会を立ち上げ研修会議の対応をしている。			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3	身体拘束は行っていない。			